

平成26年度 NTT数理データシステム学生奨励賞 (Text Mining Studio) 応募用

教師の学習ニーズに関する調査  
— 教員免許更新講習におけるアンケート調査をもとに —

愛知教育大学大学院・静岡大学大学院  
教育学研究科博士課程2年  
望月耕太

# 研究の背景①

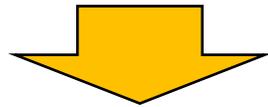
## 2012年 「学び続ける教員像」の確立

2012年8月28日 中央教育審議会 答申

教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について

⇒ **これからの教員に求められる資質能力**

- ・教職生活全体を通じて実践的指導力を高める。
- ・知識・技能を絶え間なく刷新する。
- ・探究力を持ち学び続ける



**学校の教員は学び続ける必要がある。**

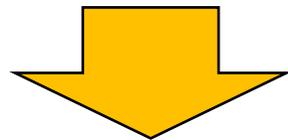
## 研究の背景②

2009年 教員免許更新制(以下、更新制)の開始

更新制の目的

- ・学校の教員が最新の知識能力を身に付けること
- ・学校の教員が自信と誇りを持って教壇に立つことができること

⇒ 免許更新の講習実施者は主に大学



大学が学校の教員に講習を行う必要がある。

## 研究の背景①と②より

大学は学校の教員が  
学習意欲を高められる講習を実施する必要がある。

⇒大学は学校の教員の**学習ニーズ**を把握する必要がある。

そのため

**学習ニーズ**を把握する調査を実施

## 調査結果から期待できること

講習に学校の教員の**学習ニーズ**を反映することによって、講習の**教育効果**及び**受講者の満足度**を**高める**ことができる。

# 先行研究

## ○講習に対するニーズに関する研究

- ・講習の開催日時と内容(大谷ら 2009)
- ・子どもの指導や授業にすぐに使える内容(松尾 2010)
- ・日々の教育実践や教育課題と関連した内容(望月、梅澤 2010)



## 残された課題

**受講者ニーズの詳細は不明**

例. 具体的な内容、学校種による違い、講習の方法など

# 調査概要

- ・目的

学校の教員の学習ニーズの把握

- ・方法

調査日時: 2014年5月1日～2014年8月24日

調査方法: 質問紙調査(自由記述式)

分析方法: テキストマイニング

(NTT数理システム Text Mining Studioを使用)

- ・対象(有効回答数)

現職の教員および保育士284名

内訳→幼稚園・保育園: 13名、小学校: 75名、中学校: 75名、高校: 77名、  
中学・高校(中高一貫): 8名、特別支援学校: 36名

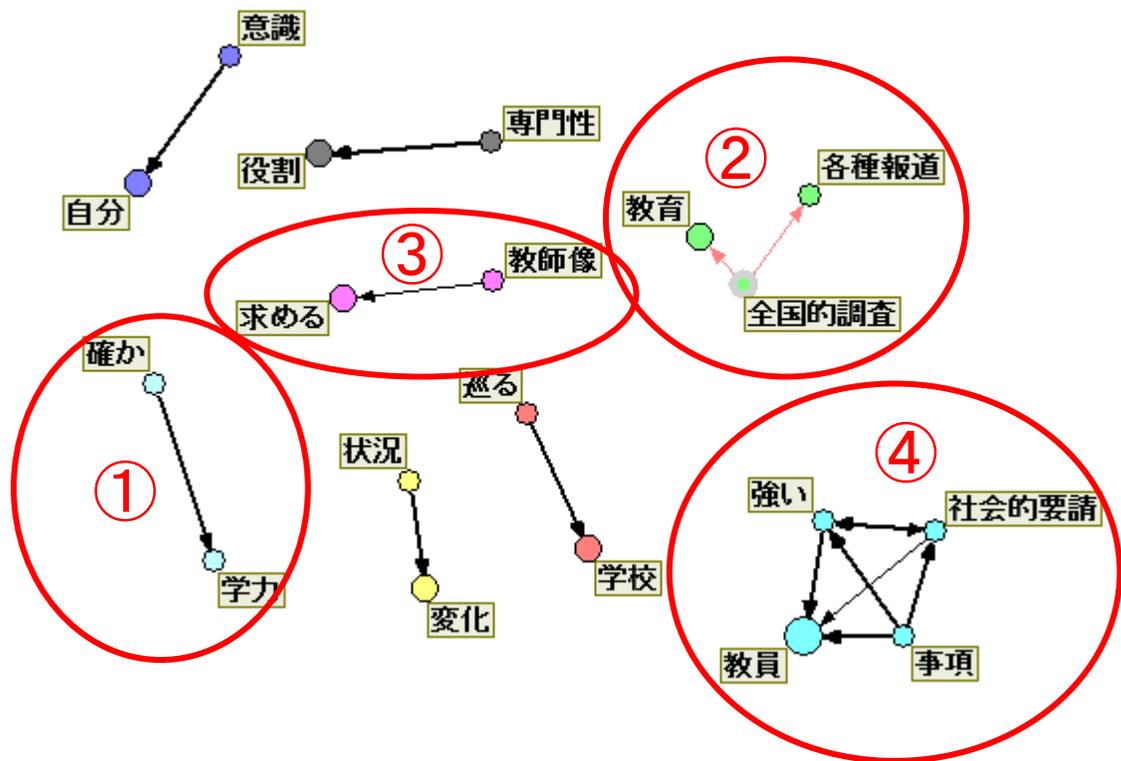
# 質問項目

1. 「教職についての省察」に対する関心の内容
2. 「子どもについての理解」に対する関心の内容
3. 「教育政策の動向についての理解」に対する関心の内容
4. 「学校内外での連携協力についての理解」に対する関心の内容
5. 講習形態などについての意見や要望

# 結果

## (1)「教職についての省察」に対する関心の内容

### 1. 「教職についての省察」についての関心(全対象者)



### 関心の内容

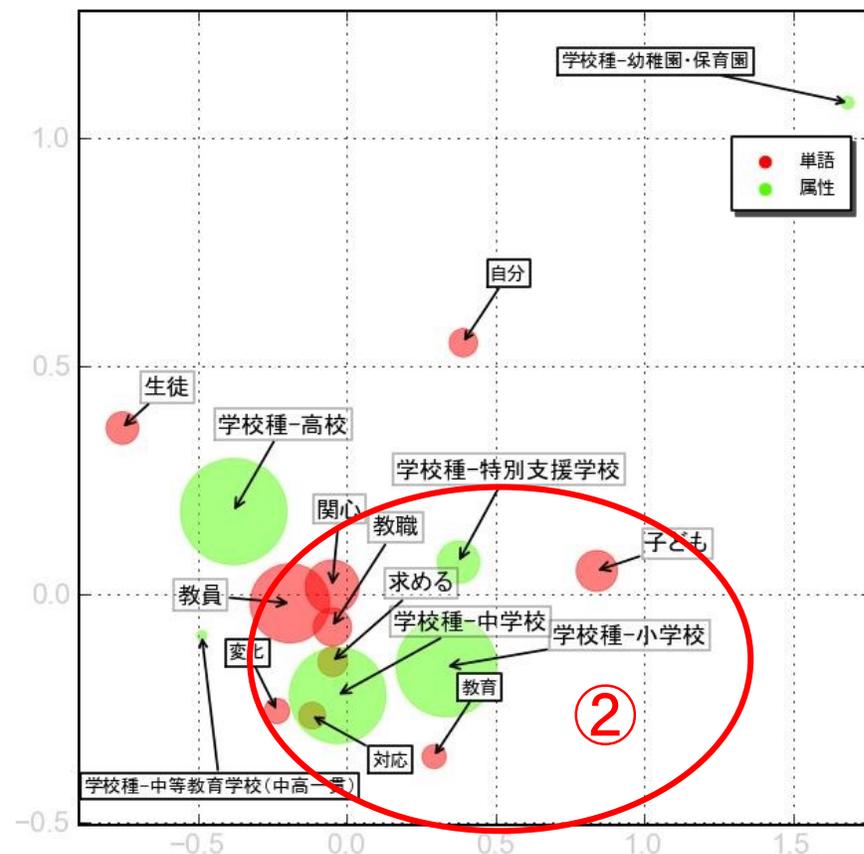
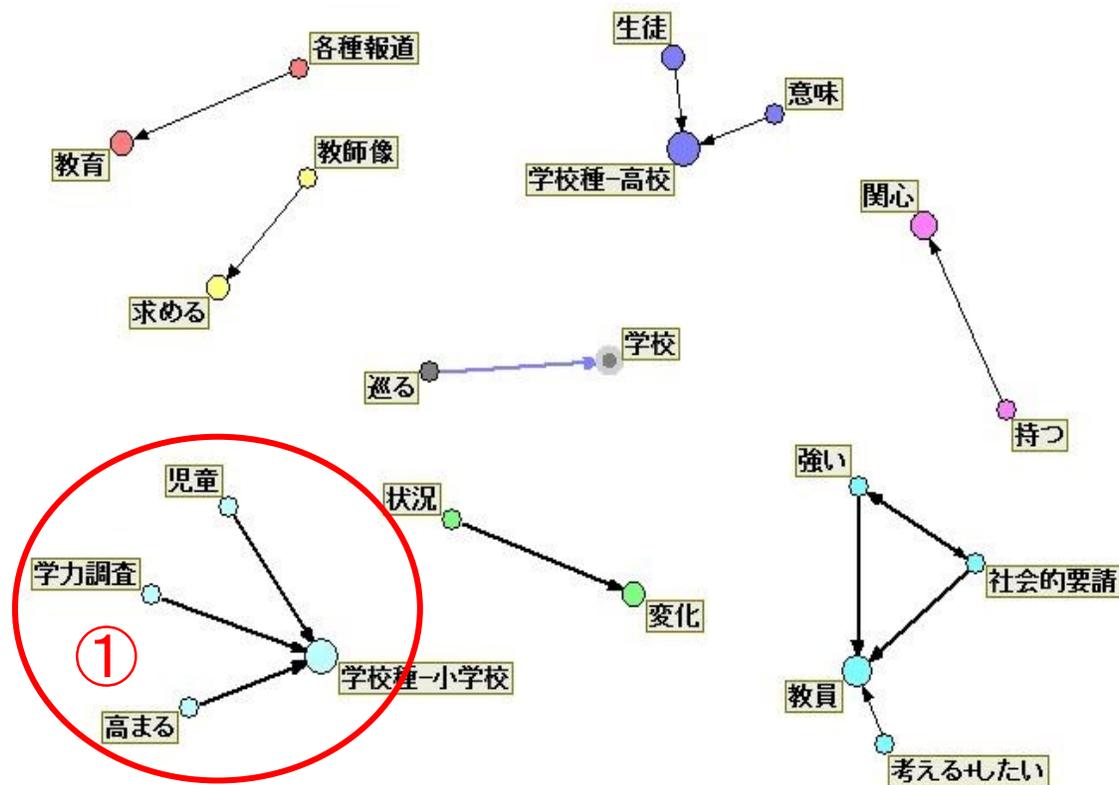
- ① 学力について  
・確かな学力
- ② 教育に関する報道について  
・教育に関わる全国調査
- ③ 教師像について  
・求められる教師像
- ④ 教員について  
・教員に対する社会的要請

教員に対する  
社会的な期待、  
まなざし

# 結果

## (1)「教職についての省察」に対する関心の内容

### 1. 「教職についての省察」についての関心(学校種別)



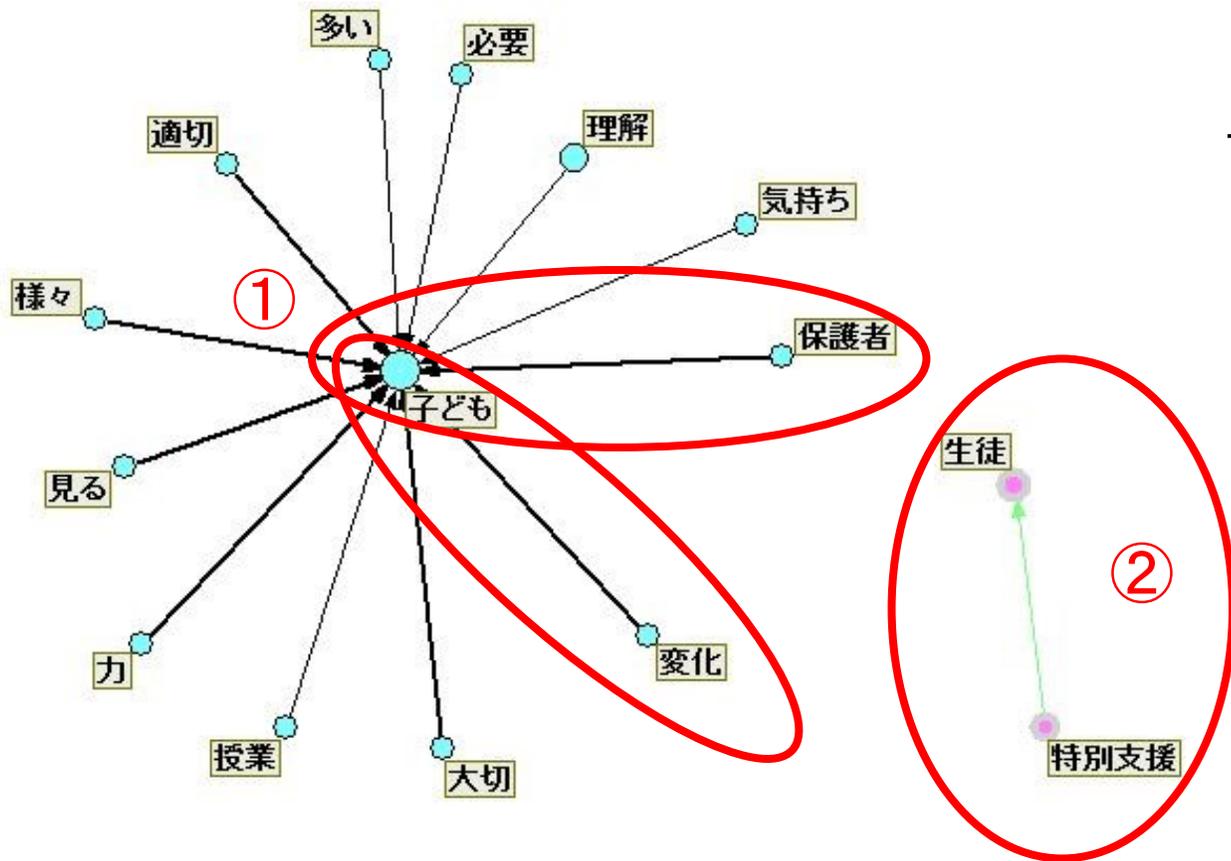
①小学校教員は学力調査に関心がある。

②小学校、中学校教員のニーズは似ており、教員に求められている事柄に関心がある。

# 結果

## (2)「子どもについての理解」に対する関心の内容

### 2. 「子どもについての理解」についての関心(全対象者)



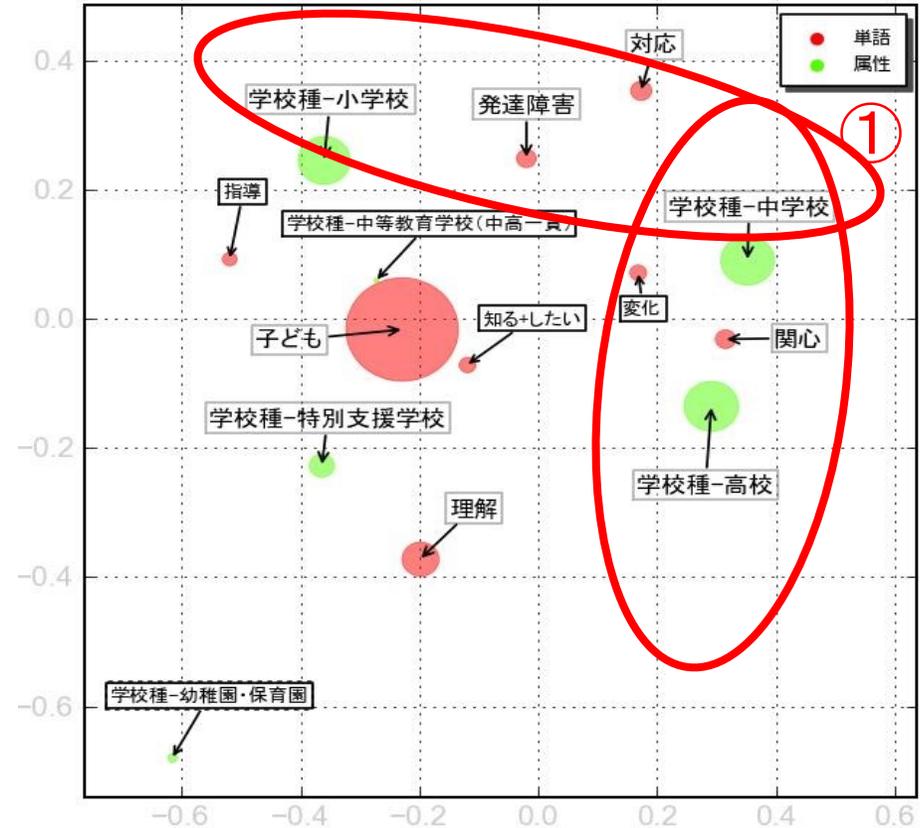
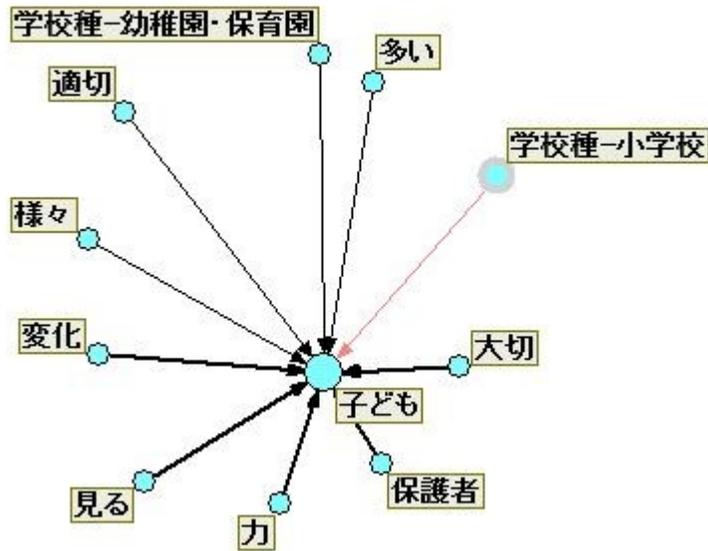
### 関心の内容

- ①子どもに関するもの
  - ・保護者との関係
  - ・子どもの変化 など
- ②特別支援に関するもの
  - ・特別支援が必要な生徒との関係

# 結果

## (2)「子どもについての理解」に対する関心の内容

### 2. 「子どもについての理解」についての関心(学校種別)



### 関心の内容

○学校種によってニーズが異なる

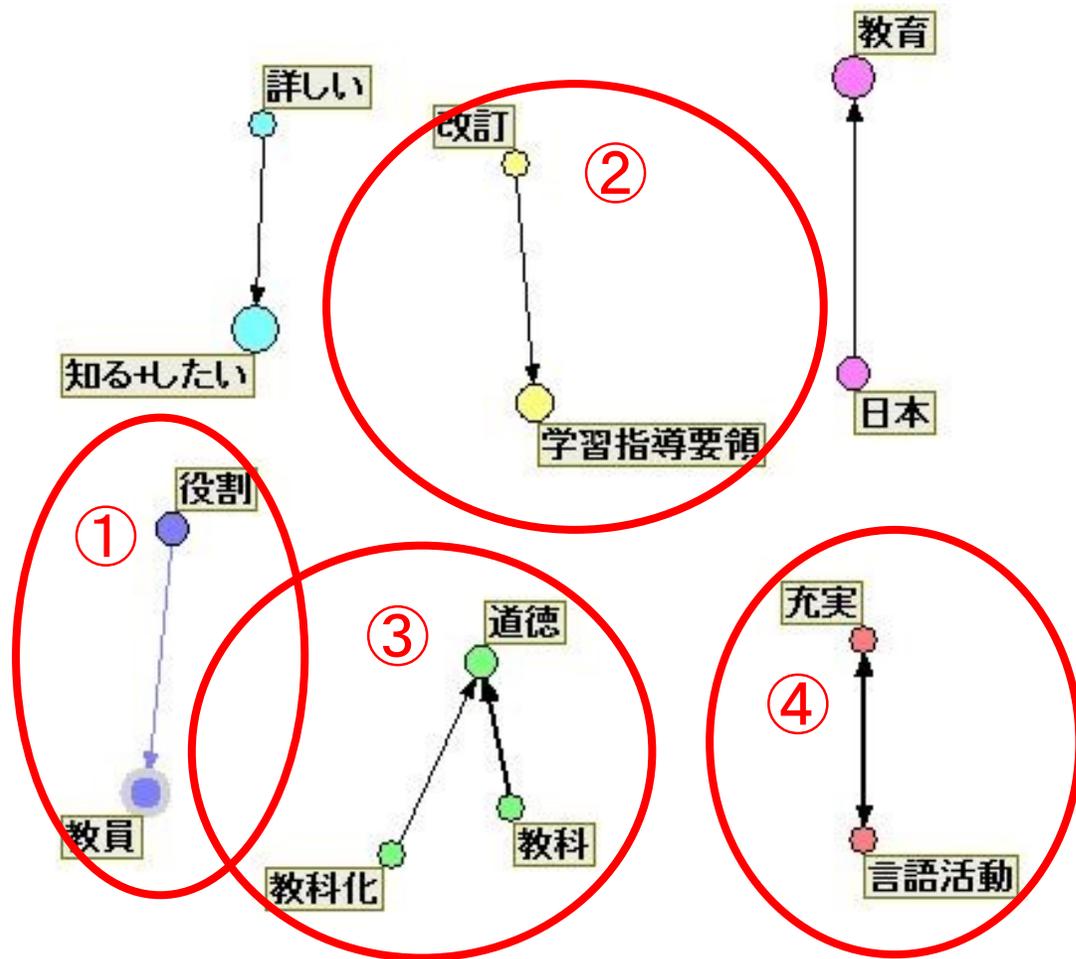
①小学校と中学校が共通→発達障害への対応に関心

中学校と高校が共通→子ども変化に関心

# 結果

## (3) 「教育政策の動向についての理解」に対する関心の内容

### 3. 「教育政策の動向についての理解」についての関心(全対象者)



### 関心の内容

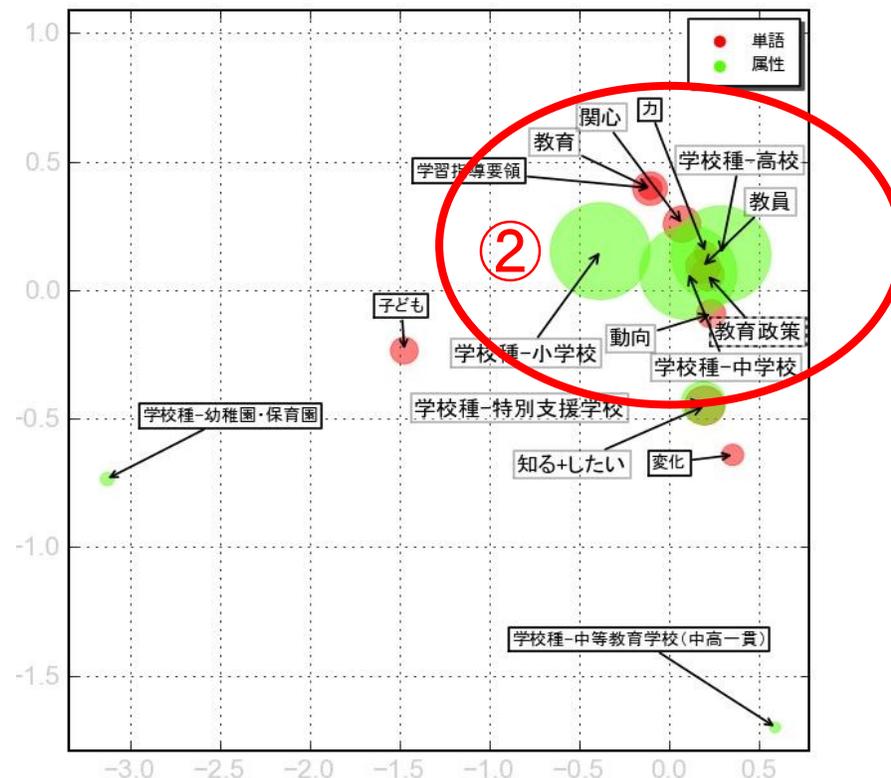
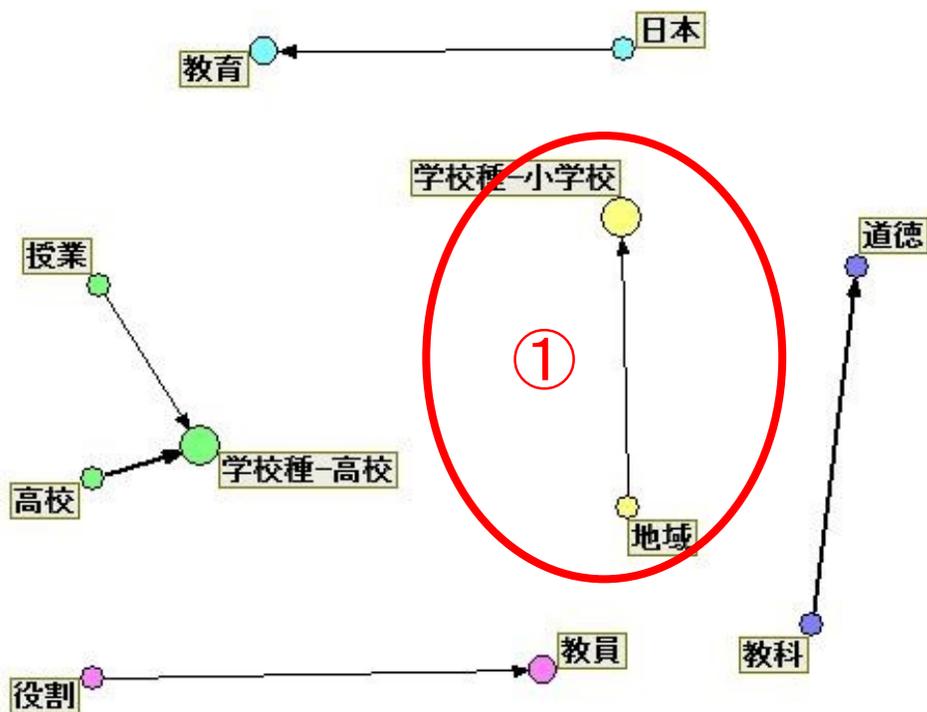
- ① 教員について
  - ・教員の役割
- ② 学習指導要領について
  - ・学習指導要領の改訂
- ③ 道徳について
  - ・道徳の教科化
- ④ 言語活動
  - ・言語活動の充実について

新しい  
教育活動

# 結果

## (3) 「教育政策の動向についての理解」に対する関心の内容

### 3. 「教育政策の動向についての理解」についての関心(学校種別)



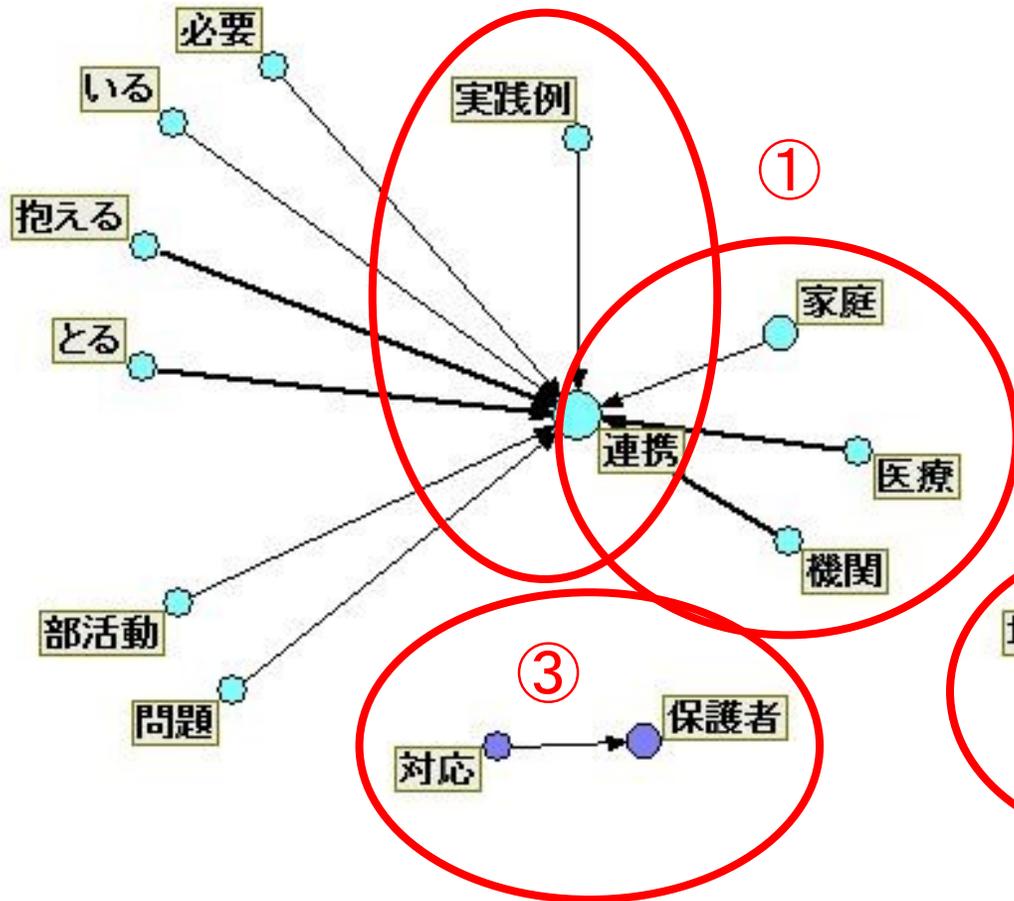
① 小学校は地域に関心がある。

② 小学校、中学校、高校は関心が近い。ex. 学習指導要領

# 結果

## (4) 「学校内外での連携協力についての理解」に対する関心の内容

### 4. 「学校内外での連携協力についての理解」についての関心(全対象者)



### 関心の内容

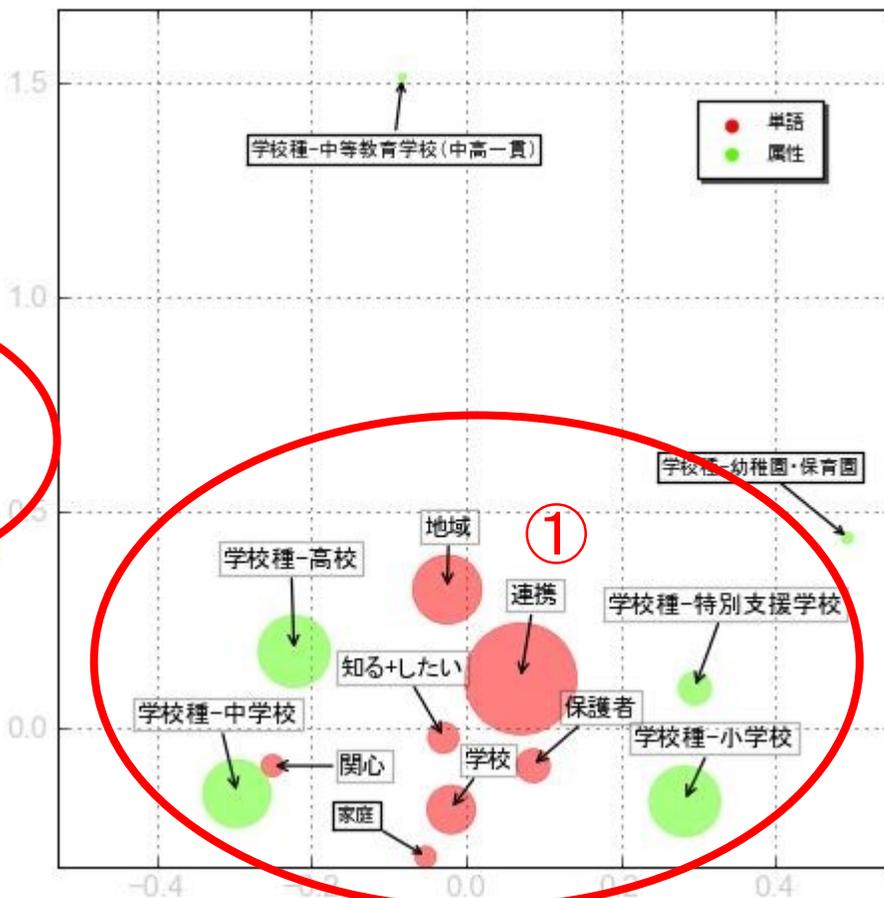
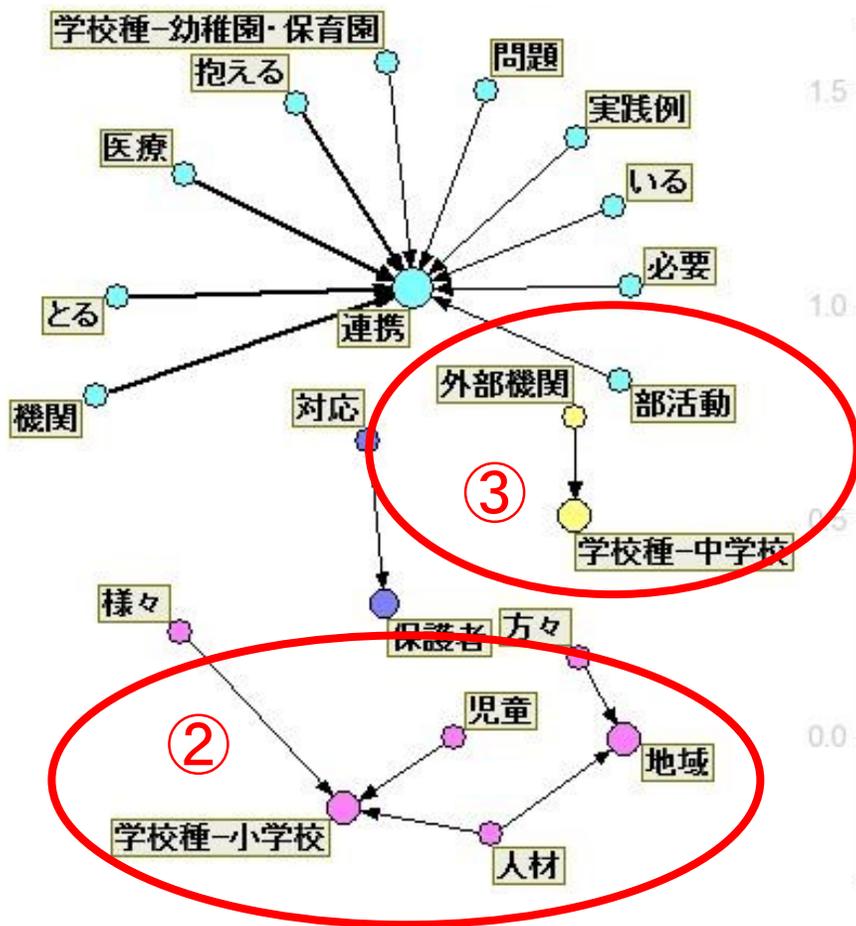
- ①連携について
  - ・連携の実践例
  - ・家庭、外部機関との連携
- ②地域について
  - ・地域人材
- ③保護者について
  - ・保護者対応

学校外  
の連携

# 結果

## (4) 「学校内外での連携協力についての理解」に対する関心の内容

### 4. 「学校内外での連携協力についての理解」についての関心(学校種別)



①学校種によって関心が異なっている。

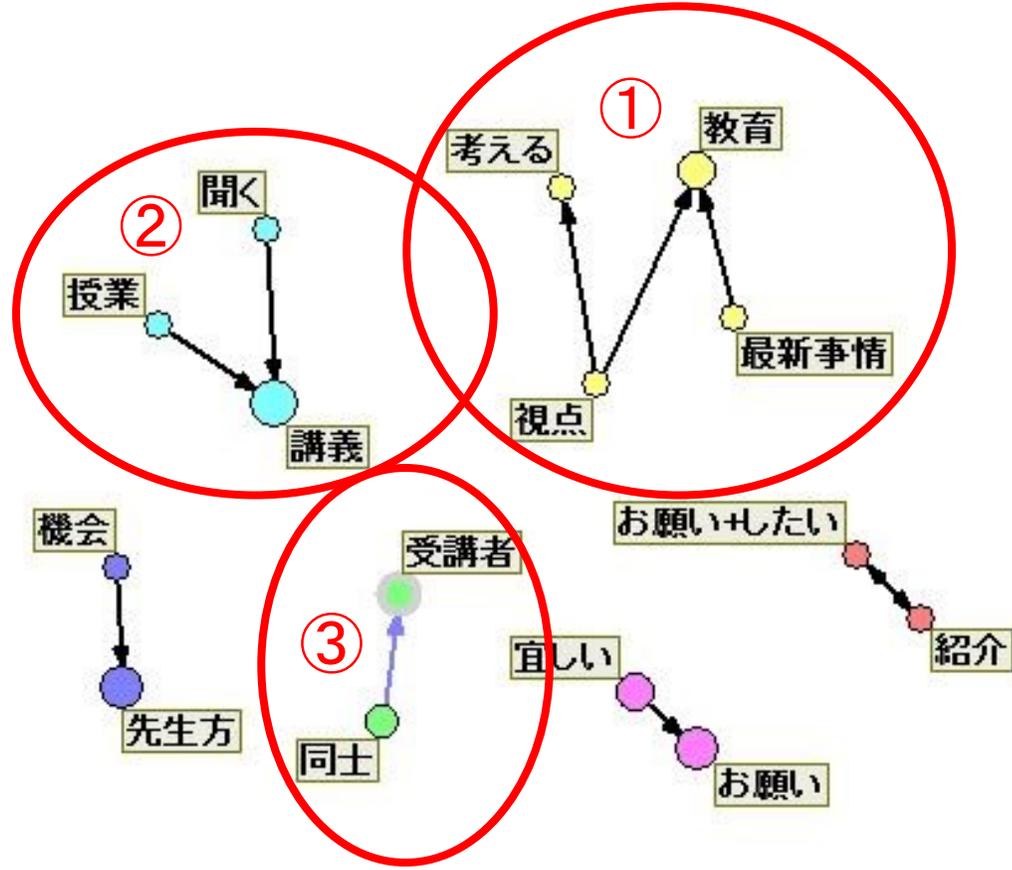
②小学校教員の関心  
地域の人材

③中学校教員の関心  
・外部機関

# 結果

## (5) 講習形態などについての意見や要望

### 5. 講習形態などについての意見や要望(全対象者)



### 関心の内容

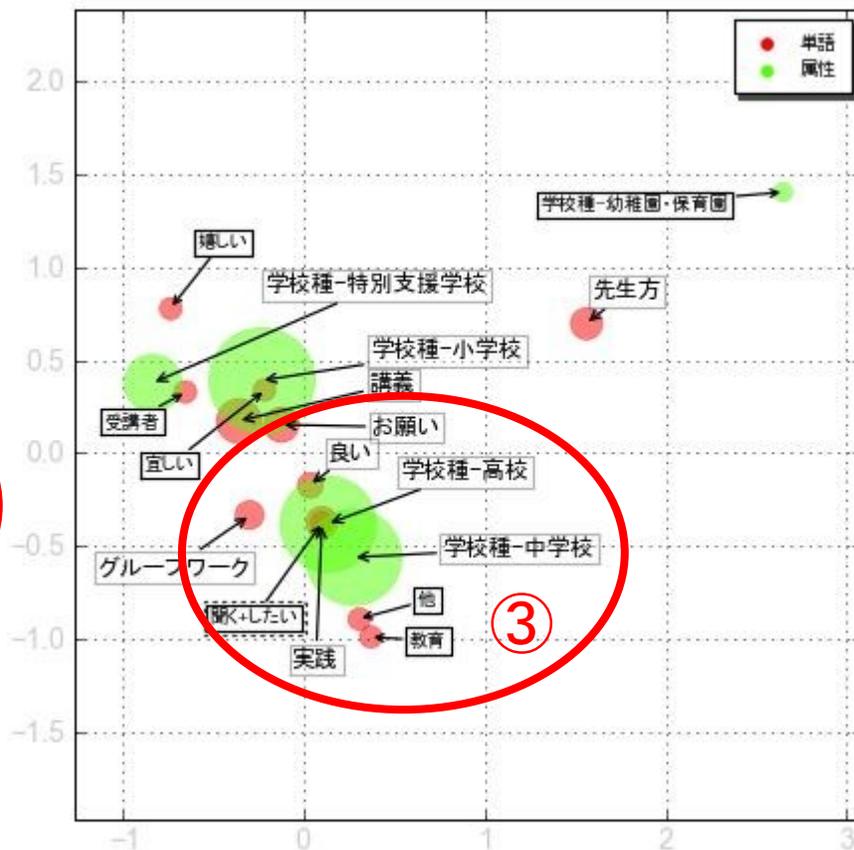
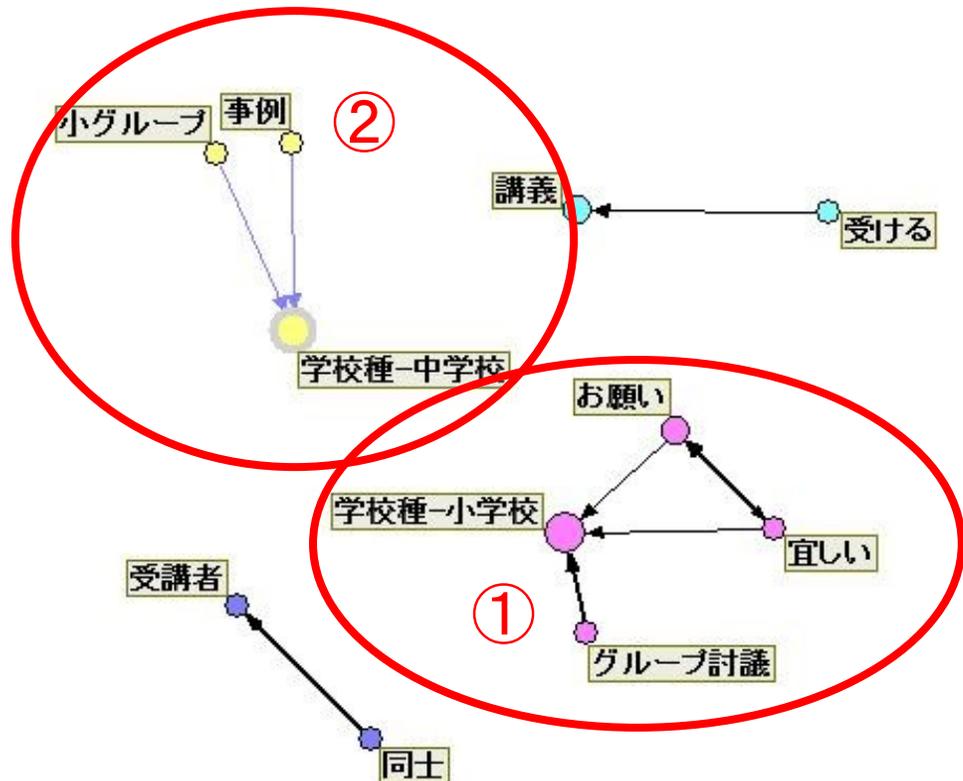
- ①講習内容について
  - ・最新の教育事情
- ②講習方法について(講義)
  - ・講義を聞く
- ③講習方法について(ワーク)
  - ・受講者同士で行なう

相対する  
要望

# 結果

## (5) 講習形態などについての意見や要望

### 5. 講習形態などについての意見や要望(学校種別)



- ① 小学校教員  
・グループ討議
- ② 中学校教員  
・小グループ活動  
・事例
- ③ 中学と高校教員  
に共通  
・グループワーク

# 結果のまとめ

## 全体に共通する関心の内容

### ○教員に求められる役割・仕事

例. 教師像、社会的要請

### ○新たな教育活動

例. 道徳教育、言語活動

### ○学校外の関係者との連携

例. 保護者、地域の人材、医療機関

# 結果のまとめ

## 勤務校種別に見られる関心の特徴①

### ○小・中・高校教員に共通

学習指導要領

### ○小・中学校教員に共通

教員に求められる役割  
発達障害を抱えた子どもへの対応

### ○中・高校教員に共通

時代的な子どもの変化  
グループワークを取り入れた講習方法

# 結果のまとめ

## 勤務校種別に見られる関心の特徴②

### ○小学校教員の関心

- ・学力調査に関すること
- ・地域に関わる教育政策
- ・地域の人材との連携
- ・グループ討議を取り入れた講習方法

### ○中学校教員の関心

- ・外部機関との連携
- ・小グループの活動を取り入れた講習方法
- ・具体的な事例

## 考察①

### (1) 教育政策の動向に対する

ニーズの内容が学校種に関係なく共通している。

→教育現場が多忙であり、  
近年の教育改革についていけていないことが考えられる。

### (2) 新たな教育活動に対するニーズが大きい。

→新たに始まった教育活動は実践の蓄積がないため、  
不安に感じられていることが考えられる。

## 考察②

(3) 地域との連携に対するニーズが大きい。

→学校現場が地域の人々の協力を求めていること、  
また、協働の仕方を求めていることが考えられる。

(4) 講習方法としてグループワーク形式と講義形式  
の両方が求められている。

→双方のニーズがあるため、  
両方を組み合わせて実施することが有効であると考えられる。

# 講習内容の充実に向けて

## (1) 講習方法の工夫

- 全受講者で行なう部分と  
受講者の勤務先の学校種別に行なう部分を組み合わせる。
- 講義形式とグループワークを組み合わせる。

## (2) 具体的事例の紹介

- 講習では新たな教育活動、地域の人々との連携に関する内容を扱い、その内容を扱う際には具体的な事例を意識的に用いる。

# 引用

- ・大谷直史、田渕博徳、山根俊喜、小林勝年、柿内真紀「教員免許更新講習への要望に関する調査報告—鳥取県における質問紙調査をもとに—」鳥取大学生涯教育研究総合センター『鳥取大学生涯教育総合センター研究紀要』第5号、2009年
- ・松尾由希子「講師の意識と受講者ニーズの分析にみる教員免許状更新講習の意義と課題」静岡大学大学教育センター『静岡大学教育研究』第6号、2010年
- ・望月耕太、梅澤収「教員免許状更新講習の役割と効果の検証—静岡大学の選択領域の講習受講者に対する質問紙調査をもとに—」平成22年度日本教育大学協会研究集会(2010年10月16日会場:鳥根県民会館)